

# 令和3年9月17日から9月18日にかけての台風第14号による大雨、突風について (和歌山県の気象速報)

この資料は速報として取り急ぎまとめたものです。そのため、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

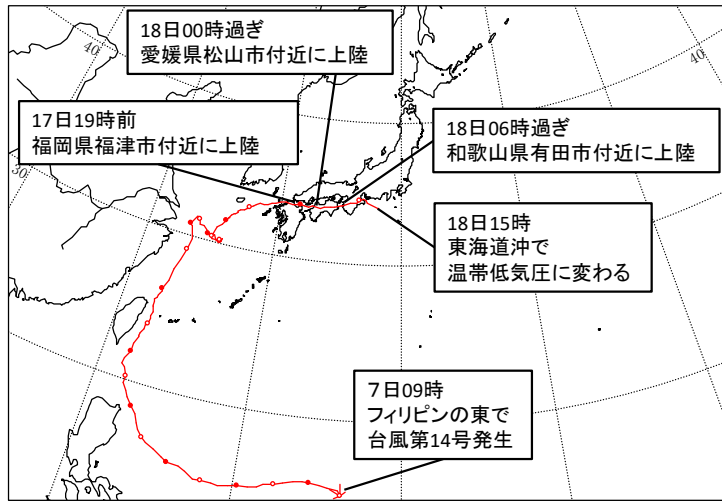
## 概要

台風第14号は9月7日09時にフィリピンの東で発生し、西寄りに進み台湾の東海上で北寄りに進路を変え東シナ海に進んだ後、しばらく停滞していました。その後、16日頃から進路を東寄りに変えて17日19時前に福岡県福津市付近に上陸、18日00時過ぎには愛媛県松山市付近に再上陸しました。台風は四国を横断し、18日06時過ぎに和歌山県有田市付近に再上陸した後、紀伊半島を横断して海上へ抜け、18日15時東海道沖で温帯低気圧に変わりました。

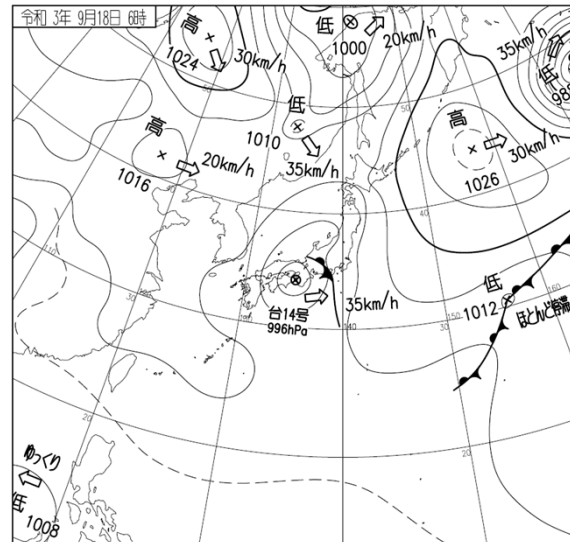
和歌山県では、西日本に停滞する前線と台風の東側に吹き込む南からの暖かく湿った空気の影響で、大気の状態が非常に不安定になったため大雨となりました。降り始めの16日04時から18日11時までの降水量は、古座川町西川で165.5ミリ、湯浅で142.0ミリを観測しました。風は友ヶ島で南南東の風22.9m/sの最大瞬間風速、南の風18.3m/sの最大風速を観測しました。この台風により、田辺市、日高町、古座川町に高齢者等避難情報が発令されました。

また、活発な積乱雲が発生したため、18日00時から01時頃、美浜町吉原から御坊市湯川町丸山にかけて突風が発生し、住家の小屋組みや屋根瓦の飛散等の住家被害が51棟が発生したほか、負傷者(軽傷)1名がありました。なお、この突風は竜巻の可能性が高いと見られます。

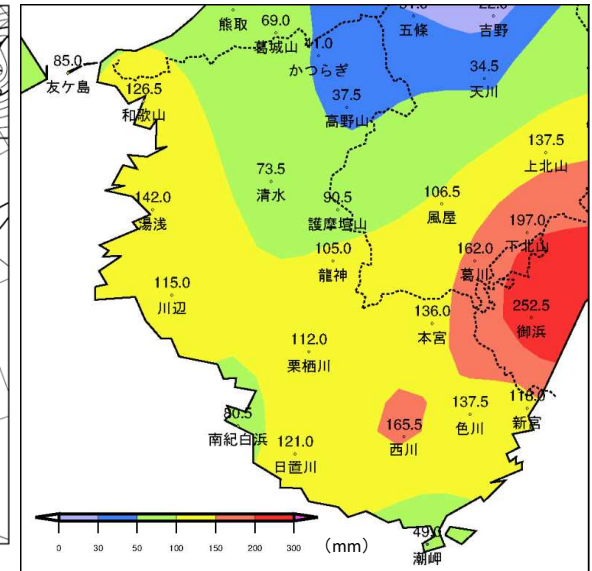
【被害状況:18日17時10分現在、和歌山県調べ】



台風経路図



9月18日06時 地上天気図



降水量分布図(9月16日04時～9月18日11時)